

4月12日、令和6年能登半島地震による被災地お見舞いのため、天皇后両陛下が穴水町をご訪問されました。ヘリコプターであすなろ広場にご到着されてから、ご案内役を務めさせていただきました。

当日は天候にも恵まれ、視察先の沿道には多くの町民の方々が、両陛下のお姿をひと目みようと思集まってくれました。両陛下は町民の方々に熱心にお手を振ってくださいました。同乗したバスの中からそのお姿を、そして沿道で喜んでくれた町民の方々を見て、感激で胸が一杯になりました。

過去を振り返ると、皇室の方が穴水町をご訪問されたのは、今から36年前になります。昭和63年7月に能都町で行われた「第30回自然公園大会」にご臨席されるために、当時皇太子であられた、上皇、上皇后美智子様が穴水町に立ち寄られ、役場庁舎でご休憩をされた記録があります。その時に美智子様が、庁舎内に飾られていた「やまゆり」にご関心をもたれ、「これは『ささゆり』ですね」とおっしゃったことから、以来、町の花が「やまゆり」から「ささゆり」に変更されたというエピソードがあります。蛇足ですが、列車でお越しになり、穴水駅で降り立たれた上皇、上皇后美智子様を、当時議会議長であった私の父がお出迎えした時の写真がわが家ではずっと飾られています。

震災から3ヶ月余り、桜の季節、さわやかな青空、天皇皇后両陛下のご訪問、少しずつ前に進めていることを実感しています。